

東京C地区会開催

平成23年11月8日、八重洲富士屋ホテルにおいて、東京C地区会(代表幹事：船越真樹、(株)インフォメーション・ディベロプメント代表取締役社長)が開催された。参加者は45名。

冒頭、船越代表幹事から、来賓及び会議のスケジュール等の紹介があった後、経済産業省商務情報政策局情報処理振興課・船渡優太係長から、経済産業省の情報政策として、融合新産業の創出の概要、情報サービス産業の現況及び今後の課題等について説明があった。

JISA河野副会長・専務理事から、JISA活動状況として、最近の業界動向(特サビ動態統計、実態調査等)、枝野経済産業大臣と電子・情報・通信関連産業界との懇談会開催、平成23年度情報化促進貢献個人等の表彰(JISA関連)、JISA Awards2012の実施、JISA新会員証、CO2削減自主行動計画、国際会議の報告、東日本大震災に対するJISAの対応、電力需給対策等の報告があった。

休憩をはさみ、全日本空輸(株)・上席執行役員、客室本部長の河本宏子氏による『お客様と共に最高の歓びを創る』と題しての講演が行われた。

河本氏は、客室乗務員の教育・訓練の心として、「訓練は実践のように、実践は訓練のように、小さいことほど丁寧に、あたり前のことほど真剣に」、ANA客室乗務員のおもてなしとして、「あんしん・あったか・明るく元気」がモットーであること、ANAの目指すCA像として、「笑顔、身だしなみ、親しみやすさ、丁寧さ、手際よさ、仕事に臨む姿勢」をあげ、さらに大切にしている「風土」として、「隠さない、認め合う、支える」等について話された。

会議終了後、昨年同様、ピアノとフルートによるミニクラシックコンサート付きの懇親会が行われた。

(菊池)